

目次

ご挨拶	羽入 佐和子	7
平成 21 年度大学院教育改革支援プログラム		
「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事業の概要	近藤 譲	8
第 11 回 国際日本学シンポジウム		
【概要】第 11 回 国際日本学シンポジウム		11
[Summary] The 11 th Symposium for Japanese Studies in a Global Perspective		16
日仏共同ゼミ・シンポジウム		
【概要】日仏共同ゼミ・シンポジウム		23
<i>Food in Shinto</i>	TAKASHIMA, Motohiro	25
On Dogen's thought of religious practice and enlightenment—an attempt to read <i>Genjo-koan of Shobo-genzo</i> —		
	YORIZUMI, Mitsuko	32
Laws, Rules, and Particularism	MIURA, Ken	37
The other house	Emmanuel, CATTIN	39
Wittgenstein and the ladder metaphor	Elisabeth, SCHWARTZ	44
Systems and Teaching in Stoic and Confucian Philosophies	Baptiste, MÉLÈS	54
Discourse and truth —Dōgen's case—	Laurentiu, ANDREI	57
Shinran's Other Power Nembutsu	SAITO, Maki	61
荻生徂徠における人間観	徳重 公美	64
伊藤仁斎における「生々」について	張 可佳	71
USC 共同ゼミ		
【概要】USC 共同ゼミ		81
平安主婦の書状生活—藤原為房妻の書状を中心に—	野田 有紀子	83
熊津都督府始末	高 丹丹	86
七世紀の大王宮周辺空間	古内 絵里子	93
日中交流史における遣唐使—長安における遣唐使と留学生を中心に—	孟 晶	98
平安時代の武芸—『小右記』にみえる近衛府下級官人と弓馬儀礼—	染井 千佳	100
撰関期における「政理」について	重田 香澄	102
写経所文書に見える官人の敬称	矢越 葉子	105
中世公家の女性たち—西園寺家を中心に—	亀井ダイチ・利永子	108
[Summary] Ochanomizu University—USC JOINT SEMINAR		112
第 4 回 国際日本学コンソーシアム		
【概要】第 4 回 国際日本学コンソーシアム		117
日本学研究はだれのものか	森山 新	121
【日本語学・日本語教育学部会】		
日本語学・日本語教育学部会報告		123

日中両言語における同じ漢字を用いた動詞の表すそれぞれの意味領域の差異に対する比較研究

—日本語動詞「飲む」と中国語動詞「飲」を中心に—

	戴 政 宇	124
日本語の「深」と中国語の“深”における認知的対照研究	徐 蓮	130
韓国における日本語学研究的概観	金 世 恩	135
タイ語と日本語の文末詞についての対照研究—文末詞「na」の性質—	イソ・アパコーン	142
日本語教育と日本学研究の関係—中国の日本語教育と日本研究を例に—	徐 一 平	146
韓国における日本学研究のジレンマ—日本語学・日本語教育学を中心に—	李 徳 奉	150
日本学研究は誰のものか—フランスにおける日本語教育と日本学—	大 島 弘 子	154
なぜ日本語を学ぶのか—ドイツの現状・課題・展望—	奥村 三菜子	157
【日本文学部会】		
日本文学部会報告		161
一葉作品における近代性への架橋—『十三夜』を通して—	張 文 聰	162
『青鞥』初期における平塚らいてうの思想—「元始、女性は太陽であった」を中心に—	顔 理 謙	166
森鷗外の歴史小説『最後の一句』における官僚批判の心理	曾 玉 蓉	170
王維の文人画世界の痕跡—漱石の題画詩を例として—	范 淑 文	174
西洋は日本の美意識をどういう風に見ていたのか	Martin, TIRALA	180
読むことの実践—アメリカで阿部昭「日々の友」を読む—	関 根 英 二	183
大衆文化からみる BC 級戦犯裁判と「責任」	申 河 慶	187
大岡昇平の作品における戦争批判の意味—「靴の話」「食慾について」の改稿をめぐって—	林 姿 瑩	192
三浦綾子『氷点』論—戦後状況における原罪意識の芽生え—	金 宝 栄	197
稲垣足穂の模型—呪物としての複製—	池 田 太 司	202
津島佑子の文学—物語と記憶—	川原塚 瑞穂	206
【歴史学部会】		
歴史学部会報告		208
Escaping from the ghetto: How we might move from a preoccupation with Japan to living in the present		
鎖国学からの脱出—日本学から現在学へ	Angus, LOCKYER	209
日清戦後の居留地政策—天津日本専管居留地を中心に—	渡 辺 千 尋	212
軍隊組織による戦前日本の軍国化	Jan, HAJNÝ	216
昭和史論争の問題点—メタヒストリー的な分析—	Tristan, BRUNET	221
ヴェルサイユ=ワシントン体制の誕生と日本	和 田 華 子	224
【日本思想学部会】		
日本思想学部会報告		229
日本朱子学における敬の意味	高 島 元 洋	231
聖徳太子の片岡山説話についての一考察	頼 住 光 子	237
清沢満之の心理学講義及び試稿について	鈴 木 朋 子	245
親鸞における往生	斎 藤 真 希	248
徂徠学における〈主体性〉の考察	徳 重 公 美	251
伊藤仁斎の生々観にみる形而上学	張 可 佳	255
思想問題としての「日本学」	張 彦 麗	259
横井小楠の「開国論」と「堯舜三代の道」	党 蓓 蓓	263
[Summary] The 4th Consortium for Japanese Studies in a Global Perspective		269

公開講演会

<平成20年度>

第4回公開講演会：今、日本の食料を考える—現場で何が起きているか— 275

<平成21年度>

第1回公開講演会：恋愛小説における日本的なロマン—ハッピーエンドとは何か— 278

第2回公開講演会：明治翻訳小説『小婦人』—お転婆ヒロインの登場— 280

第3回公開講演会：コーパス日本語学講演会 282

第4回公開講演会：随唐時代の東アジアの国際関係 284

第5回公開講演会：よしながふみのマンガに見る<食>とジェンダー 287

第6回公開講演会：女性と文字—平仮名・ハングル・中国女文字— 289

第7回・第8回・第9回公開講演会案内 291

日本文化研究コーパス・研究分野別文献案内の紹介 293

平成21年度「大学院教育改革支援プログラム合同フォーラム」ポスターセッションへの参加

ホームページの構成と紹介 299